

上部尿路上皮癌患者における Lynch 症候群責任遺伝子異常の発生率とその特徴に関する単施設後ろ向き観察研究

1. 研究の対象

2005年4月1日から2020年12月31日までに当院で腎尿管全摘除術を受けられた方

2. 研究目的・方法

○目的：上部尿路上皮癌における Lynch 症候群責任遺伝子異常の発生率とその特徴を探索します。

○方法：既に当院で手術を受けられた方の手術標本から得られる情報と、カルテから得られる診療情報を用いて上記の解析を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：手術標本

情報：病歴、併存疾患、手術所見、病理結果、転帰 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。またご本人に関する上記の結果につきましてもご希望があれば開示する事が出来ます。

試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立がん研究センター東病院 泌尿器・後腹膜腫瘍科

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

TEL：04-7133-1111 （代表）

研究責任者：増田均